

大分県立三重総合高校

智泉幼稚保育専門学校の沖田先生が、大分県立三重総合高校で保育基礎を選択している2年生（18名）に出前講座を実施してくださいました。

R7.9.25(木)

「子どもの未来は輝いている！ ～保育のおしごと～」

講師：智泉幼稚保育専門学校 沖田先生

これから近隣の保育施設に実習に行かれる皆さんに向けて、保育のしごとのこと、絵本、手遊び歌、手作りおもちゃについてお話をしてくださいました。

「子どもにとっては人生はじめての先生。それが保育の先生」

幼児期に必要な力とは…

- ・主体性(自分で考え、自ら進んで物事をすすめる力)
- ・友だちとかかわる(コミュニケーション力)
- ・信頼関係(愛着関係) 心の安全基地

非認知能力

目にみえない力を育てる



- ◎失敗から立ち直る
- ◎意欲的に取り組む
- ◎粘り強い心
- ◎思いやり
- ◎自分に自信を持つ = 自己肯定感

絵本の読み聞かせをしてみよう！

ゆっくり、丁寧に
読んでみよう！

子ども一人ひとりに愛情を持ってかかわり、発達段階に応じて援助・指導し、健やかな育ちを支えていく。

どんな風に読んだらいいか、子どもたちに聞かせる時はどんなことに気を付けながら読んだらいいかとみなさん考えながら実践していました😊

💡1対1で「絵本」の読み聞かせをしながら、お話に共感し合う。あたたかい心(思いやり)を育てます。



次は何を作ろうかな～

手遊び歌をしてみよう！

- ◎「やきいもグーチーパー」
- ◎「グーチョキパーでなつくろう」の手遊び歌！みんなで歌いながらやってみました！

手作りおもちゃを作ってみよう！

羽根を斜めに折るとよく飛ぶよ～



「どうしたらうまくいくかな？」
「こうかな？」と試行錯誤しながらたけとんぼを作りました！



ホントだ！よく飛んだ！



たけとんぼ完成!!

子ども達と一緒に考え工夫しながら作ることで、うまく出来た時の喜びを感じることができます。

～生徒の感想・学び～

- ◎保育の先生は、常に園児を見ながらけがをさせないよう園児が安心できる場所を作り、すごいなと思ったし大変だなどと思いました。話に来てくれた先生はとても分かりやすかったです。
- ◎小さい子供に対する接し方や本の種類などを知れたので良かったです。また年にあった本や遊びはさまざまな種類があることを知りました。
- ◎話の内容がわかりやすかったです。保育の意欲が高まつた。それに、竹とんぼの工作ができてうれしかったです。将来に向けて活かせるようにしたいです。